

# 授業における共通実践事項

研究主任 俵

# やってほしい教師の心がけ 17

導 入	<p><b>【めあて】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・めあては、児童の発言を引き出しながら設定する。教師だけで決めない。内容次第だが、「どのようにして～するのだろう。」のような疑問形で設定する。→めあてに対するまとめができるように</li> <li>・教師は「めあて」は必ず板書し、黄色で囲む。児童は、赤で囲む。</li> <li>・みんなで声に出して1回読む。この時間に何をすべきかしっかり確認させる。</li> </ul>	
	<table border="1"> <tr> <td> <p><b>【見通しをもたせる】</b> (結果の見通し) 予想・仮説・構想 (方法の見通し) 既習内容・順序・手段(ツール)</p> </td> <td> <p><b>【見取りと机間指導】(個別最適な学び)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートやワークシートへの記入状況や課題への取組状況を把握</li> <li>・学習の進め方や理解の実態を把握</li> <li>・つまずきの把握</li> </ul> </td> </tr> </table>	<p><b>【見通しをもたせる】</b> (結果の見通し) 予想・仮説・構想 (方法の見通し) 既習内容・順序・手段(ツール)</p>
<p><b>【見通しをもたせる】</b> (結果の見通し) 予想・仮説・構想 (方法の見通し) 既習内容・順序・手段(ツール)</p>	<p><b>【見取りと机間指導】(個別最適な学び)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートやワークシートへの記入状況や課題への取組状況を把握</li> <li>・学習の進め方や理解の実態を把握</li> <li>・つまずきの把握</li> </ul>	
展 開	<p><b>【聴き合いタイム】(協働的な学び)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○分かったこと・考えたことを聴き合う →友達の考えを他の友達へアウトプット 共有させるための働きかけ(予想・再生・換言・要約・共感・発見・補助)</li> <li>○分からなかったことや間違ったところを聴き合う →課題や原因をみんなで探る、解決する(事実・方法・理由)</li> </ul>	
	<p><b>【教師による問い返し】(深い学び)</b></p> <p>児童の思考が活性化させる問い返しとは？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○比較する ○分類する ○関係付ける ○視点(立場)を変える</li> <li>○推論する・適用する ○選択・判断する ○見通す ○批判する ○振り返る</li> </ul>	
か	<p><b>【まとめ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめも、本時の学びのキーワードをもとに児童の発言を引き出しながら設定する。</li> <li>・教師は「まとめ」は必ず板書し、赤色で囲む。児童は、赤で囲む。</li> </ul>	
	<p><b>【振り返り】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りの視点「じ・も・と」に沿った振り返りをする。</li> <li>・必ずしも毎時間行わなければならないわけではなく、必要に応じて適宜実施する。単元末では必ず実施する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>～ふりかえりの視点～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>じ</b> 自分がかんばったこと</li> <li><b>も</b> もっと知りたい・やってみよう</li> <li><b>と</b> 友だちの考えていいなと思ったこと</li> </ul> </div>	
わ		
	<p><b>【終末】</b></p>	

- 1 チャイムと同時に始め、チャイムと同時に終わる。
- 2 導入の際、ICTを使って資料を提示し、児童の興味・関心を引き出す。
- 3 本時の「まとめ」をもとに、「めあて」をどのようにするのか考える。
- 4 「まとめ」が「めあて」の答えになるように児童から言葉を引き出す。
- 5 「めあて」はできるだけ疑問形で設定する。
- 6 「めあて」をノートに書かせたら、全員で声に出して1回読む。
- 7 課題解決に向けた「見通し」をみんなで確認する。
- 8 机間指導で児童の取組状況や実態、つまずきを見取る。
- 9 全員が1人学びできるような手立てを講じる。
- 10 教師が指名したら、「はい」と返事をさせる。
- 11 児童の発言や発表に対して「いいです。」「わかりました。」は×
- 12 ペア活動を取り入れて、一人一人にアウトプットの機会を確保する。
- 13 聴き合う時は、お互いに体を向けて聴き合う。
- 14 分からないことや間違ったところを聴き合う時間を設ける。
- 15 深い学びに向けた「問い返し」を児童の発言をもとに行う。
- 16 「まとめ」を行う前には、必ず「めあて」に立ち返る。
- 17 ふり返りの視点「じ・も・と」に沿った振り返りをする